

本校における「生成AI」の利用についての注意事項

愛知県立総合看護専門学校

はじめに

近年、急速に進化を遂げている生成AIは、既存情報を大量に学習し、それらを基に計算原理に従って有用性の高い出力をすることが可能であり、様々な利活用が期待されています。手軽に情報が得られるデジタル時代だからこそ、1つ1つの情報の意味を理解し、その問題の本質を問うことや、単なる個別の知識の集積ではない深い意味を理解する手助けとなります。

しかしその一方で、作成した文書が誤った趣旨になったり、誤った情報を得てしまうこともあります。その結果、学修活動の妨げや、個人情報漏洩、著作権侵害につながる場合も考えられます。活用する際は、以下の項目に留意してください。

1. 専門職として学び続けるために

専門職業人として社会の動向に目を向け、看護の質の向上をめざし、新しい知識、技術を主体的に学び続けるためには、思考力や判断力を鍛え、課題解決に取り組むことが必要です。生成AIへの過度な依存により、学習・成長の機会を損なうことのないよう注意してください。

2. 著作権や個人情報の入力禁止

生成AIが文書作成に利用する情報には個人情報や著作権に関わる文書もあり、意図せず個人情報漏洩や著作権侵害につながる可能性があります。本校の「患者個人情報並びに実習施設及び学校の情報の取扱いに関する倫理規定」を遵守してください。

3. レポート・課題作成における使用について

引用元や参考とした資料など根拠となった出典を明記したうえで、主体的な考えに基づいて作成することが必要です。単位の認定にかかるレポートや課題等の作成において、生成AIの出力内容をそのまま転記したことが確認された場合、盗用・不正行為とみなし単位の認定を行わない等の措置をとる場合がありますので注意してください。

4. 生成物の内容の正確性

- 1) 生成AIの基盤技術である大規模言語モデル（LLM）の原理は、「ある単語の次に用いられる可能性が確率的に最も高い単語」を出力することで、もっともらしい文章を作成していくものです。その内容には誤りが含まれていることを念頭に置き、必ず事実検証（ファクトチェック）を行ってください。
- 2) 生成AIは、インターネット上の情報を基に学習していることが多いため、生成される回答は、多数派の意見が重視され、少数派の意見が反映されにくい傾向にあります。そのため、回答には差別・偏見等のバイアスが含まれていることを念頭に置き、その回答に基づいて判断することによって個人及び集団を不当に差別してしまうことのないよう注意してください。
- 3) 生成AIは、学習データにないことは答えられません。生成AIの学習データの範囲を正確に確認してください。

5. 講義における使用について

授業担当教員の指示に従ってください。

なお、本校における「生成AI」の利用についての注意事項は、愛知県「生成AIの利用に関するガイドライン」、文部科学省の「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」「大学・高専における生成AIの教学面の取扱いについて」を参考としていますので、ガイドライン等の変更がある場合は、本文書は改訂されることがあります。